

TOSHIBA 東芝オートリレー付ダウンライト

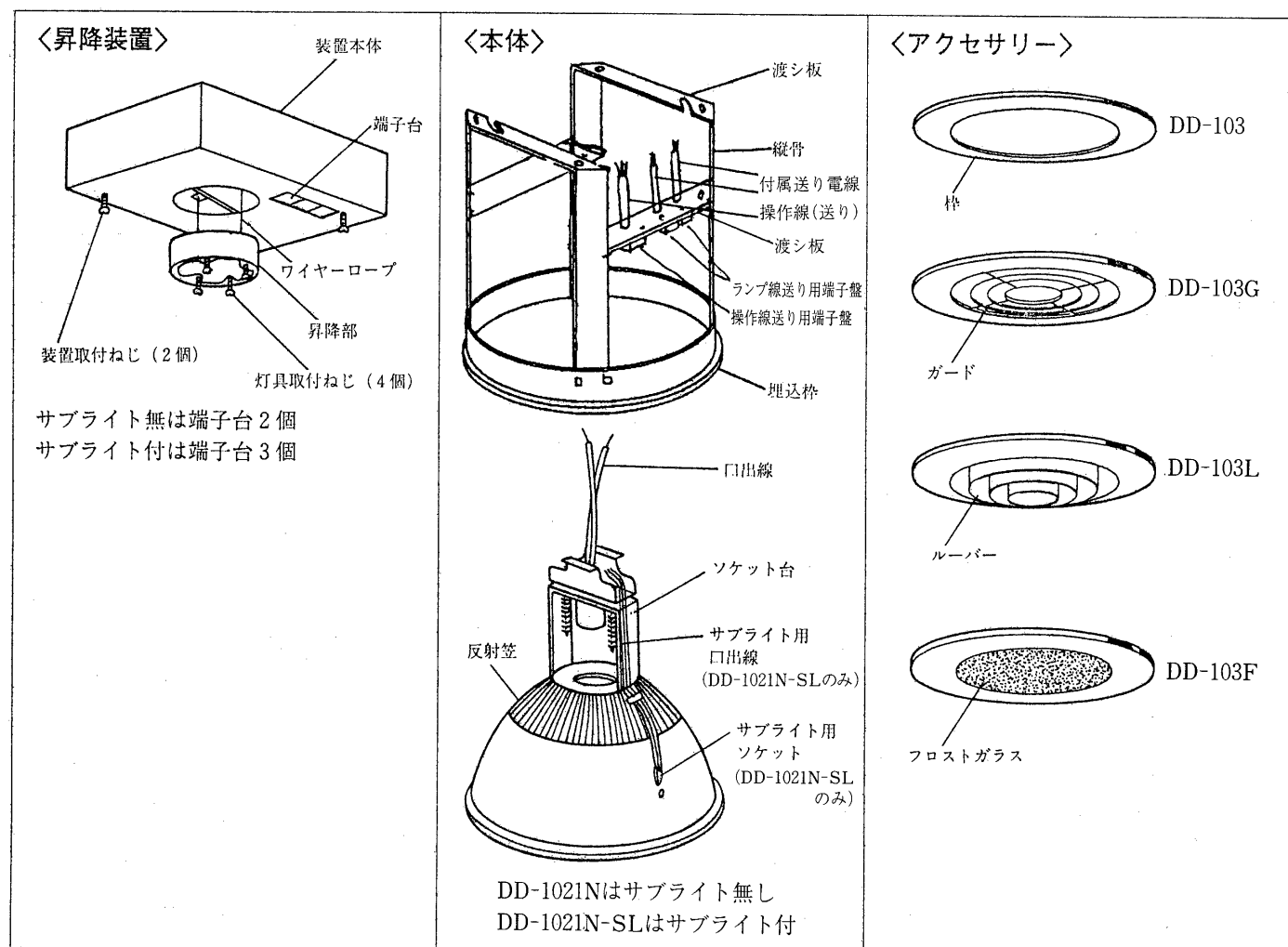
DD-1021N, DD-1021N-SL

このたびは東芝オートリレー付ダウンライトをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

品 名		適 合 ラ ン プ	
本 体 部	昇 降 装 置	H I D ラ ン プ	サ ブ ラ イ ト
DD-1021N	HUD-2225-200 (2 接点)	高圧ナトリウムランプ 660W～1000W HL-ネオハライドランプ 700W～1000W 水銀ランプ 700W～1000W	JD100/110V 500W-E (別売)
DD-1021N-SL	HUD-2425-200 (4 接点)	チョークレス水銀ランプ BHF500W～750W * ネオハライドランプ700W・1KWの“B-J”タイプは ご使用になれません。別途ご相談ください。	

アクセサリ(別売) DD-103(下面開放枠)・DD-103G(ガード付枠)・DD-103L(ルーバー付枠)・DD-103F(フロストガラス付枠)

■各部のなまえ



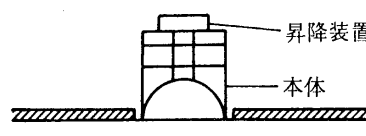
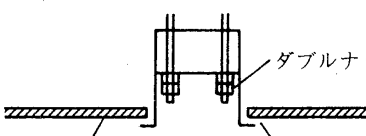
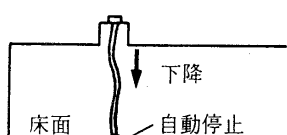
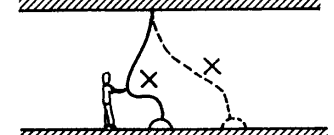
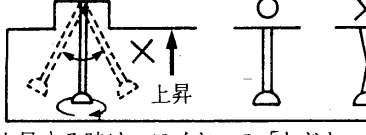
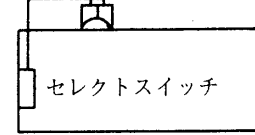
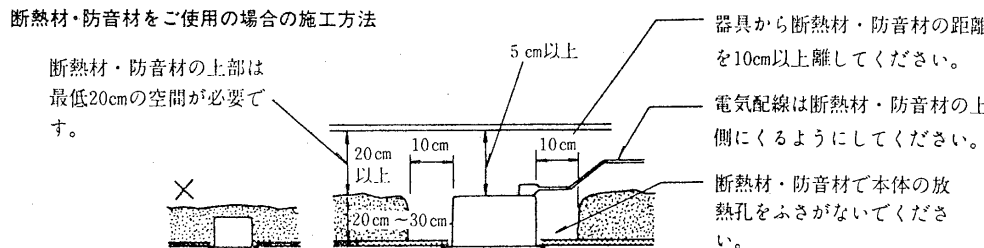
お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられています。

工事店様へ

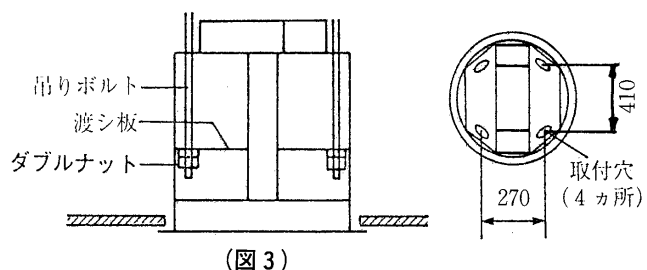
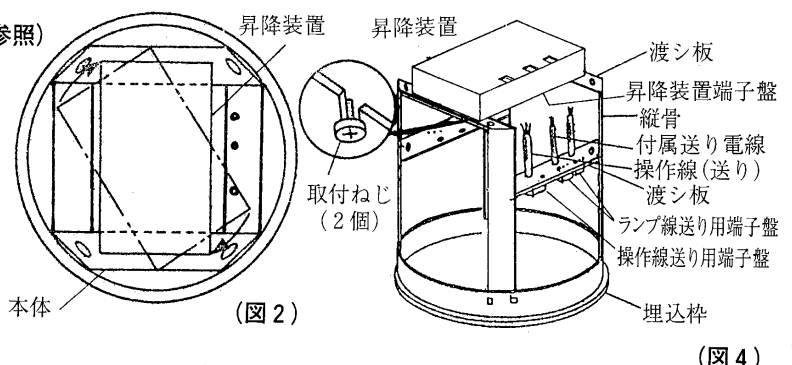
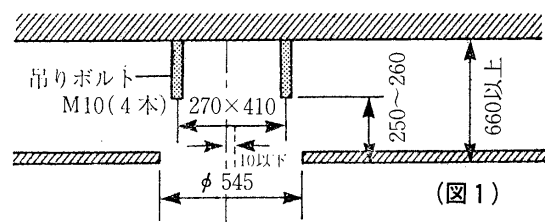
工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■特にご注意を

① 本体は垂直になるように取り付けてください。又昇降装置は水平になるように取り付けてください。昇降不良の原因となります。 	② 本体と天井面にすきまのないように取り付けてください。 	③  ● 昇降部分は下降し床面に到達すると自動的に停止します。
④  ● 床面に到達し自動停止した状態でワイヤーを引っ張らないでください。 ● 到達した位置より横にずらさないでください。	⑤  ● 上昇する時は、ワイヤーの「ねじれ」「もつれ」がないかを確認の上、セレクトスイッチを上昇にしてください。 ● 運転中は灯具を絶対にゆらしたり、回転させたりしないでください。	⑥  ● 昇降部は装置に嵌合すると自動的に停止します。 ● 昇降動作が終了しましたらセレクトスイッチを停止 (OFF) にしてください。
⑦ ● 誤配線をされますと、装置が損傷するおそれがありますので配線は確実に行ってください。 ● 器具を取り付ける前に器具の組み合わせ、適合ランプを確認してください。 ● 操作回路とランプ回路とはそれぞれ別にブレーカーを設けてください。 ● 昇降装置の改造は、絶対に行なわないでください。動作不具合の原因となります。 ● 30分以上の連続昇降操作は、絶対に行なわないでください。モーター短寿命の原因となります。 ● 振動の大きい場所、風のあたる場所では使用しないでください。 ● 昇降装置は、防塵構造にはなっていないので、ちり、ほこり、汚れのひどい腐食しやすい場所、および高温(40℃以上)、高湿(85%以上)、の場所には、使用しないでください。器具の前面より1 m以内に可燃物を置かないでください。		
断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法  断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。 5 cm以上 20 cm 以上 10 cm 10 cm 20 cm ~ 30 cm 器具から断熱材・防音材の距離を10cm以上離してください。 電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。 断熱材・防音材で本体の放熱孔をふさがないでください。		

■器具の取り付けかた

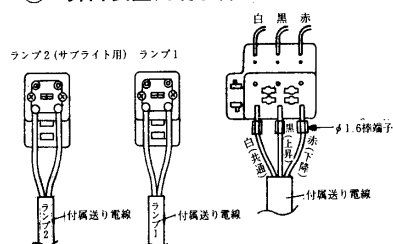
- ① 天井面に埋込穴をあけてください (φ 545mm)
- ② 吊りボルト (4 本) を取り付けてください。(図 1 参照)
- ③ 埋込穴中心と吊りボルト取り付けピッチの中心の心づれは10mm以下になる様施工してください。
- ④ 本体に昇降装置を昇降装置の端子盤と器具本体の端子盤の位置を合せて取り付けてください。(図 2 参照)
- ⑤ 器具を天井面に取り付けてください。
 - 渡シ板の下段でダブルナットで固定してください。(図 3 参照)
- ⑥ 昇降装置の端子台に、本体枠に付属されている送り電線を結線してください。(図 4 参照)
 - 昇降操作電線 (3 本束) は共通 (白)、上昇 (黒)、下降 (赤) を必ず確認して結線してください。
 - ランプ用電線 (2 本束) は主ランプ用電線と、サブライト用電線を必ず確認して結線してください。ランプ不点、破裂の原因となります。
- ⑦ 本体枠の端子盤に操作電源線、ランプ電線を結線してください。
 - 電源線は 1.6 mm または 2 mm の単線を使用してください。
- ⑧ セレクトスイッチに操作電源線を結線してください。
 - セレクトスイッチおよび操作盤 (HUD-206、HUD-212) は別売り品を別途お求めください。



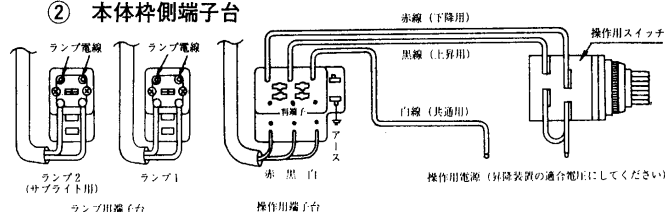
結線図

① 送り配線をしない場合

① 昇降装置側端子台



② 本体枠側端子台

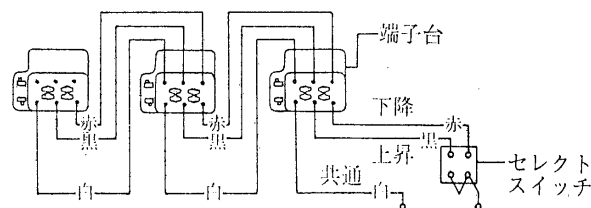


ご注意

操作線 共通(白)、上昇(黒)、下降(赤)
主ランプとサブライト(SL付の場合)は確実に結線して下さい。

② 送り配線をする場合 (13台まで)

- 誤配線されますと器具内回路が焼損するおそれがあります。



ご注意

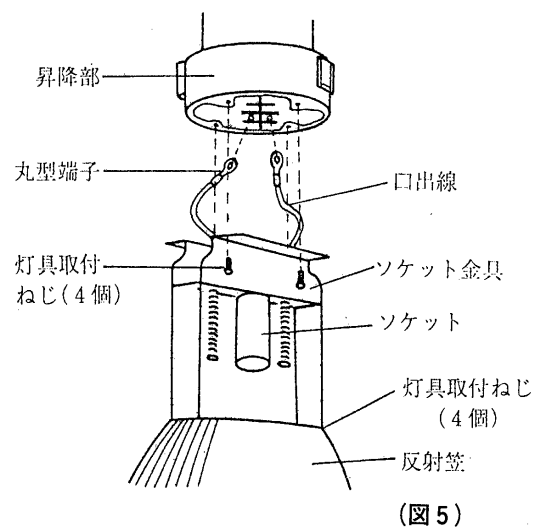
送り配線は必ず本体枠側端子台より行ってください。
昇降装置側端子台を使われますと焼損する恐れがあります。

- 昇降装置の昇降部をスイッチ操作して下降させてください。
- 昇降部のねじ端子に灯具の丸型端子付口出線を接続してください。(図5参照)
(サブライト付の場合、4本ありますので端子台の番号に合わせて接続してください。)
- 灯具取付ねじ(4個)でソケット金具と、昇降部をしっかりと固定してください。電線をはさまぬようご注意ください。
- ランプを取り付けてください。
- アクセサリ枠の止め金具(4個)と止めねじ(4個)を外して、反射笠を固定金具の内側に置き止め金具(4個)を反射笠カーン部分の上にセットしてください。(図6参照)
- 止めねじ(4個)をしっかりと締め付けてください。(図6参照)
- スイッチ操作して、灯具を上昇させロックしてください。

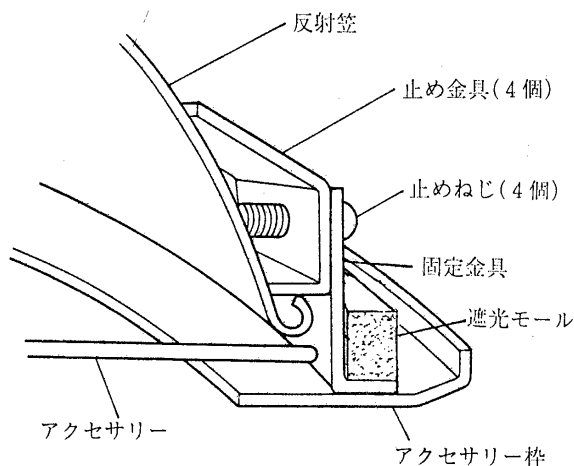
灯具がロックされれば自動的に停止しますが、セレクトスイッチはかならず停止(OFF)の位置にもどしてください。

ご注意

- 反射笠は昇降します。昇降する部分に電線がはみ出さないように、また反射笠に電線がふれないように注意して結線してください。(本体枠付属の電線押えをご使用ください。)



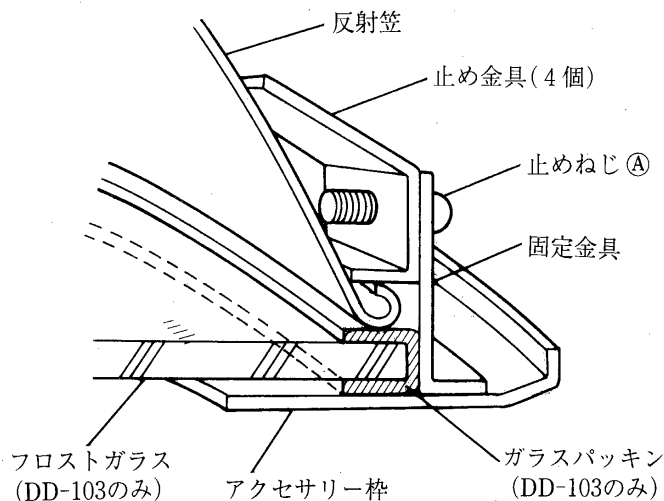
(図5)



(図6)

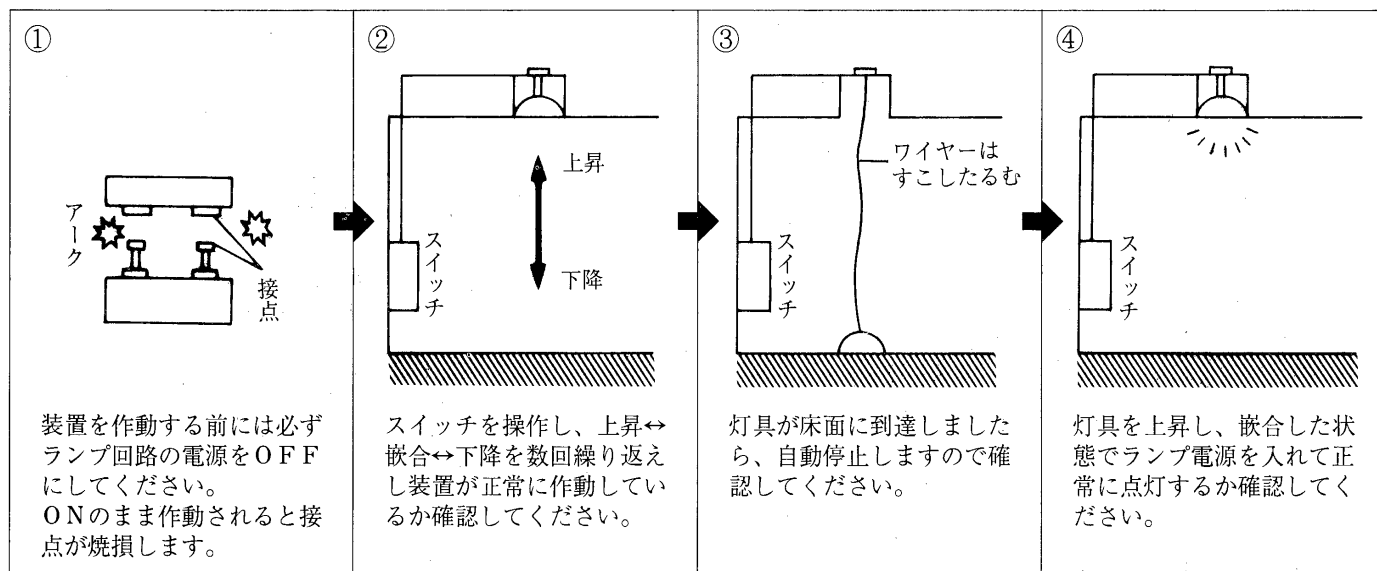
■ランプ取付および交換のしかた

- ①ランプ電源を切ってください。
- ②スイッチ操作して、灯具を床面まで下降させてください。
- ③アクセサリ枠の止めねじ④をゆるめ反射笠からアクセサリ枠をはずしてください。
- ④ランプを交換してください。
- ⑤アクセサリ枠を反射笠に取り付けてください。
- ⑥灯具を上昇しセットさせセレクトスイッチを停止（OFF）にもどしてください。
- ⑦ランプ電源を入れてください。



■昇降試運転について

器具の取り付けが終わりましたら必ず足場のある内に試運転を行なってください。



■ご注意とお願い

- ①電動昇降装置に付属の取扱い説明書も一通りよくお読みください。
- ②灯具の昇降に際しては、必ずランプ電源を切ってから行なってください。
- ③昇降可能高さは、15mまでです。昇降する灯具の高さが15m以上ある場合は、お買いあげの販売店、または東芝ライテック㈱営業所にご相談ください。
- ④結線後、昇降しない場合は、結線が違ってないかどうか、もう一度お調べください。
なお、原因不明の場合は、お買いあげの販売店、または東芝ライテック㈱営業所にご相談ください。

■修理サービス

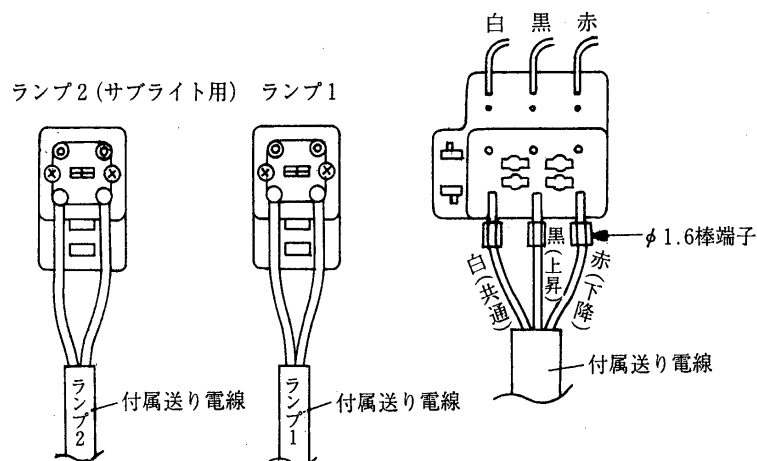
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)または東芝ライテック㈱営業所にご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

結線のご注意

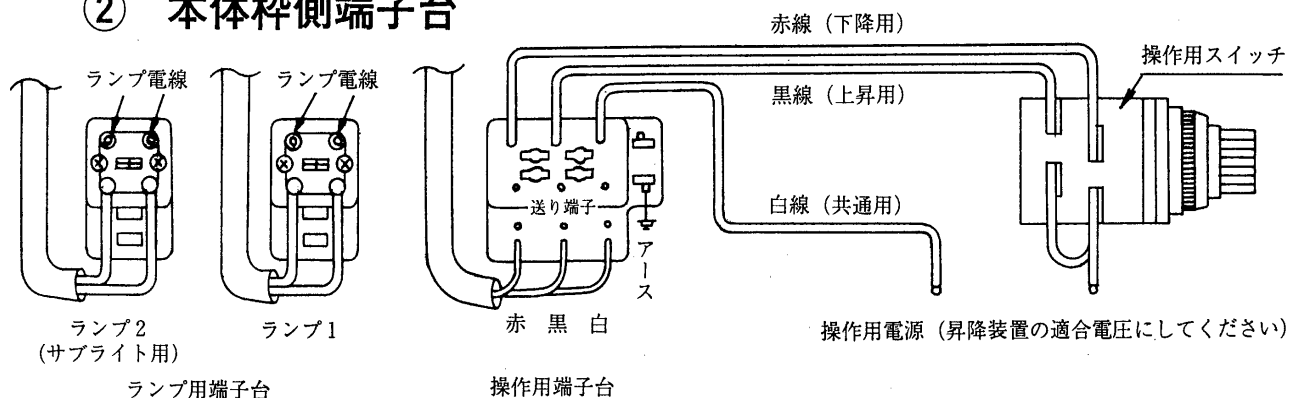
電源端子台結線図（2灯用の場合）

1. 端子台は昇降装置と本体枠それぞれに1箇所ずつあります。
まず、昇降装置の端子台に本体枠に付属されている送り電線を結線してください。
 - 昇降操作用電線（3本束）は共通（白）、上昇（黒）、下降（赤）を必ず確認のうえ結線してください。誤配線すると、内部回路が焼損する恐れがあります。
 - サブライト用の場合は、ランプ用電線（2本束）主ランプ電線ランプ1と、サブライト電線ランプ2を必ず確認のうえ結線してください。ランプ不点、破裂の原因となります。
2. 本体枠の端子台に操作用電線、ランプ電線を結線してください。
誤配線にご注意ください。

① 昇降装置側端子台



② 本体枠側端子台



NP5881